

手賀沼が海だった頃

NO. 6

地域の歴史や自然を皆で語ろう

2002・10・1

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会会報

松ヶ崎城址の
土地が新所有
者に。経緯と
今後

今年四月の総会でお知らせしたように、松ヶ崎城址の中心部分を占める土地の所有者が二月、変わった。大型高層マンションが建つなど、急速に姿を変えつつある松ヶ崎周辺。これまで守られてきた松ヶ崎城もなくなってしまうのか――役員で会議を頻繁に開きながら、何ができるのかを議論した。会員の方々へのお知らせは、いつどのようになればよいかも議題に必ず上がった。しかし、あいまいな情報であってはならないこと、速い対応が必要だったことから、報告が現在に経緯は次にまとめました。ご了承いただければ有難く存じます。

松ヶ崎城址の所有者が変わった
春を迎えようとする頃、松ヶ崎城址の中心部分を占

柏市が松ヶ崎城址を確認調査

10月26日(土)に見学会を開催

める土地の所有者が変わったとの情報が寄せられた。

これまで幾度も開発の波を受けそうになってきた松ヶ崎城も、今回は開発されるのではと、役員は強い危惧を抱かざるを得なかった。柏市へ保存要請書

講演会講師に峰岸氏

「もし開発されるのなら、急がなくてはならない。非常に状態の良いまま保存されてきた松ヶ崎城、歴史的な自然環境の重要性を認識し始めてきただけに、何とかしたいというのが役員共通の思いだった。

これまで明らかになった松ヶ崎城の価値を、市へ伝

えようという意見が出た。

内容をまとめた時点で、千葉歴史学会や千葉城郭研究会、また研究者の方々が賛同者として名前を連ねてくれることになった。柏市長宛の要請文書(一面に掲載)にして、提出するために会

長・副会長が市役所を訪れたのは六月。少しずつ、市

との話し合いも進んでいった。同時に、企画中だった講演会で、中央大学教授・文化学保存検討委員の峰岸純夫さんが話してくださるとの朗報が舞い込んだ。松戸市戸定歴史館学芸員・中山文人さん、千葉城郭研究会事務局・遠山成一さんの

協力もあって

始まった確認調査



七月七日、野村ホールで講演会を開催。参加者は約百二十人。研究者だけでなく一般の参加も多く、感謝とともに地域史

への関心の高さを役員一同強く感じた。

地主さんの理解と協力
市文化課の調査も決定

その講演会の数日後、新しい地主さんと初めて話し合う機会を得た。6月にあ

る新開で松ヶ崎城が取り上げられ、宅地造成されるか

もしれない」と報道された。地主さんは、当会のことを知り、「宅地造成をするという記事があったが、そのつもりはない。市役所との話し合いがうまく進めば、保存もやぶさかではない」と話された。危機感の強かった役員にとつて、非常に有

難い言葉だった。

一方、市文化課も動き、確認調査の実施を決められた。これまで土塁や堀の長さも概数で把握されていたのみ。正確な計測とともに確認調査をすれば、疑問のいくつかは解けるはずだ。10月に現地見学会

今回の調査は山武考古学研究所に発注された。現在測量が終わり、確認作業が始まったばかり。①城跡を正確に計測②遺構を確認するために表土を除去③城であることは間違いのないので、いつ頃のものか、どのくらいの期間使用されたか、どのような性質の城だったかなどの情報を得るための調査」と同研究所。今月二十六日(土)に、調査中の現場での見学説明会を引き受けてくれた(詳細は四面)。

ただ、調査は郭(ぐるわ)周辺に限られている。これまで研究者が位置付けている海城としての松ヶ崎城に、舟を係留した「津」の跡が見つければ、全国的にも非常に珍しい遺跡となる。城の造りから「この辺りではないか」と仮説はたてられないか」と松ヶ崎に道路が建設された時、港の跡が確認されたとの情報もあった。今後子供も含めた市民の手で発掘はできないか。もちろん、専門家の参加は必要だ。幾つもの課題はあるが、一つひとつ解決しながら、多くの人で発掘ができたら――皆様のご意見をお待ちしている。

柏市長宛に提出した保存要請書

松ヶ崎城址 及び

周辺森林の保存のお願い

平成十四年六月三日

柏市長 本多晃様

手賀沼と松ヶ崎城の歴史
を考ふる会会長

川上利男

松ヶ崎城址及び周辺森林の保存のお願い

柏市松ヶ崎城址及びその周辺につきましては、これまで所有者の方々のご理解とご努力があつて、ほぼ自然のままの姿を保つてまいりました。しかし、このほど所有者の変更に伴いまして、その中心部分が開発されようとしております。この土地につきましては、下記の事由によりぜひとも保存されるべきかと思われま

とする関東地域の中世史、中世城郭研究者の賛同者名簿を添えて要請する次第です。

記

歴史的重要性

当地は手賀沼湖畔にあり、手賀沼を北西方向から一望する位置にあります。土地内には前方後円墳と推測される墳墓がある他、室町・戦国時代の城跡が残されております。中世期の城跡については柏市内では増尾城址を始めいくつかの城址がありますが、松ヶ崎城址のよう

に周辺の景観を併せて昔の姿をとどめている城址は見る事ができなくなっているのが現状です。松ヶ崎城址は手賀沼湖畔の舌状台地にあり、土塁、堀など中世城郭の典型的な特徴を残しているのみならず、古代からの

柏地域や手賀沼を見てきた「証人」でもあります。隣接する地域には古代から中世へと続くきわめて大規模遺跡で重要性が指摘されながら、未だにその性格が解明できない法華坊遺跡があります。この遺跡の謎を解明する上でも、松ヶ崎城址の役割は大きな意義を持つています。これまで、遺跡の

歴史の価値は出土品の価値や建造物の有無・希少性によって論じられてきました。松ヶ崎城址と周辺森林は手賀沼、呼塚、松ヶ崎と続く緑のチエーンの上にあります。しかし、開発によってこの緑のチエーンはとどころが切断されていきます。幸いにも柏市の「緑の基金」による斜面林の保護などにより、一部は保全されていますが、開発が続く中で予断を許さない状況が続いております。

然が今や急速に姿を消しつつあります。当地には古くから近隣の住民に親しまれてきた「松ヶ崎不動尊」があり、参拝路や古道、わずかですが、信仰を集めた滝も湧水地として名残をとどめております。市民の生活の中にあつた自然の消失とともに、その自然と結びついた人々の暮らしや文化も失われることは言うまでもありません。

自然環境としての重要性

松ヶ崎城址と周辺森林は手賀沼、呼塚、松ヶ崎と続く緑のチエーンの上にあります。しかし、開発によってこの緑のチエーンはとどころが切断されていきます。幸いにも柏市の「緑の基金」による斜面林の保護などにより、一部は保全されていますが、開発が続く中で予断を許さない状況が続いております。

このように柏の「どこにでもあつた自然」の価値を再評価すると同時に、シャープ研究所側の斜面林保存、大堀川の整備・公園化と関連させて松ヶ崎城址及び周辺森林について、エリアとして保存・活用を考ふる必要があります。

以上のような歴史的価値と自然環境としての重要性を併せ持つ松ヶ崎城址の保存を要望するものです。以上

賛同者

《団体》千葉歴史学会・千葉城郭研究会

《研究者》二十名

賛同者は平成十四年五月二十八日現在

会長 川上利男

松ヶ崎城の確認調査が始まりました。ソワソワしながら行方を見守つています。ここまで辿り着いたのも、土地の所有者の方々のご理解と、行政をはじめとする関係者の方々のご努力があつたからだと思います。

これまで、私達は学術的な面からの活動を行ってきました。その過程で、地域の歴史的な遺産を残すことの難しさを思い知らされました。特に、大都市近郊にあつて、特別の遺構などが発見されていない史跡は、大部分が無価値であるのかのように扱われ、開発のなかに破壊されてきました。

幸いに、松ヶ崎城を中心とした一画は手付かずのままに残されています。城跡や古墳だけでなく、この自然そのものが中世だけでなく、古代からの柏の人たちの遺産であり、私達は未来の人たちに引き継いでいかなければなりません。私達世代が柏の歴史・文化の破壊者であつてはならないと考えています。

今後、歴史と自然の持つ価値を理解してもらつた活動をさらに深めるとともに、最終的には市による同地域の借り受け、買上げを願つて、私達もナショナルトラストをはじめとする様々な活動を展開して行きたいと思ひます。

会長 川上利男

平成14年度 定例総会 ～花野井香取神社 本殿見学も～

平成14年4月7日

平成13年度決算報告

《収入の部》

- ・前年度繰越金 53,125
- ・会費 134,000
- ・講演会参加費 88,800
- ・雑収入 47,827
- (フリーマーケットの収入)
- 合計 323,752

《支出の部》

- ・講演会 68,000
- ・見学会 6,666
- ・展示会 41,713
- ・会報 72,571
- ・消耗費 7,984
- ・通信費 48,690
- ・交通費 5,360
- ・交際費 10,000
- (慶弔費)

合計 260,984
《次年度繰越金》 62,768

桜の開花がずいぶん早かった今年の春、当会でも例年よりやや早めに総会を開催した。

彫刻が見事な花野井香取神社本殿を見られることになったため、会場は隣接した花野井公民館の一室。参加した会員全員で、神社見学、総会、懇親会というスケジュール。松ヶ崎城や花野井、柏の歴史の話に花が咲き、内も外も春らしい

一日だった。総会で報告された内容は、次のとおり。

平成十三年度事業報告

A、講演会

①「水辺の城を考える」講師 佐脇敬一郎さん
四月十五日

スタジオWUU

②「手賀沼とその周辺の歴史」

講師 大関隆次さん
七月八日

スタジオWUU

③「未来に向けての文化遺産の保存」講師 伊藤延男さん
九月二日

スタジオWUU

B、見学会

①「根戸城址、北柏駅周辺、松ヶ崎城」十一月二十五日



C、展示会

①「松ヶ崎不動尊風景園」展示 八月十九日 手賀沼ジャズフェスティバル 柏ふるさと公園

②「よみがえった不動尊のにぎわい」再現した絵馬ブリントなどを展示。十月二十一日 柏中央公民館

D、その他

① 自然環境グループ、松ヶ崎の踏査 六月三十日

② 手賀沼ジャズフェスティバルのフリーマーケット参加 八月十九日 柏ふるさと公園

③ 松戸市立博物館訪問 九月二十一日

④ 会報 三号、四号、五号

当会主催講演会 「江戸内湾と香取の海」

地域史への関心高く
120人が参加

近年注目されている交通・流通の視点から、松ヶ崎周辺を取り上げた講演会「江戸内湾と香取の海」巨大な内海を結ぶ交通の要衝・柏」を七月七日、野村ホールで開催した。講師は峰岸純夫さん、中山文人さん、鈴木英夫さんの三人。



講演前に、講師の中央大学教授で文化庁文化財保存検討委員の峰岸純夫氏を始め研究者十人で、松ヶ崎城址を見学した。

峰岸教授、江戸内湾の交通の要衝から見た柏を講演

(BEI-COMから)
七月七日に「考える会」が行った歴史講演会には百二十人の参加者を集め、地域史への関心の高さがうかが

えた。講演前に、講師の中央大学教授で文化庁文化財保存検討委員の峰岸純夫氏を始め研究者十人で、松ヶ崎城址を見学した。

研究の必要性、匝瑳氏の研究などを挙げた。
戸定歴史館学芸員の中山文人氏は、本土寺過去帳などの古文書に現れる松ヶ崎を解説。同会顧問の鈴木英夫氏は江戸時代に起こった多兵衛事件を中心に、手賀沼が干拓された後の「海なき時代」の松ヶ崎を話した。

千葉歴史学会で
鈴木英夫さんが報告
テーマは「柏市松ヶ崎城跡の活用と保存」

千葉歴史学会第二十二大会が五月十二日、千葉大学内けやき会館で開催され、当会顧問の鈴木英夫さんが「柏市松ヶ崎城跡の活用と保存」と題して報告した。同大会のテーマは史跡の保存と活用。史跡(遺跡)は歴史研究の資料としてだけでなく、一般市民や観光客が歴史を実地に学習し、体感できる場としても重要だとの認識が強まっているという。

講演中の峰岸教授



た。又、松ヶ崎城の特徴として海城が見られ、時代と共に変革していったとも考えられる。今後の課題として、相馬御厨文書、東遷前の中世の利根川の水量など自然関係

松ヶ崎城址の現地見学会開催

調査現場で10月26日(土)

一面でお伝えした松ヶ崎城確認調査の見学会を、十月二十六日に行います。表

土が取り除かれた、精査中の現場を見学します。説明は山武考古学研究所の所員の方を予定。今回は遺構を見つかる、言い換えれば当時の生活を見つかる調査です」とのこと。郭の内部や虎口付近、古墳と言われている二つの墳丘の周囲などが調査されています。

雨天決行。その他詳細は次の通り。

▽日時 十月二十六日(土) 午後二時〜四時

参加費無料

▽集合場所 ①松ヶ崎元ホテルオークス駐車場(集合午後一時半) ②JRB柏駅改札前(集合午後一時半)

▽問い合わせ 04(7131)8879 北さん

または090・2523・6113 青山さん

☆ 会費納入のお願い ☆

お知らせが遅くなりました。今年度の年会費は、これまでと同じ2000円。下記振込先まで、よろしくお願いたします。

また、地域の歴史や自然に興味のある方、当会で一緒に活動しませんか。申し込みは事務局まで。郵便番号、住所、電話(FAX)番号、お名前、(メールアドレス/パソコンのみ)をハガキ・ファックス・お電話のいずれかでお知らせください。

▽事務局 北絰子 〒277-0835 柏市松ヶ崎415-5、1-206

TEL・FAX 04・7131・8879

▽会計 松平信子 TEL・FAX 04・7133・6438

▽振込先 千葉銀行柏支店(NO008)普通預金3461475(手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会 伊江有可里)

松ヶ崎不動尊の
絵馬プリント
貸出中!
カラーパンフレットも
4月に完成



不動尊風景図

消失した松ヶ崎不動尊の絵馬十一点を、当会でパソコンを使って再現。同不動尊と絵馬のことは、本手賀沼が海だった頃「松ヶ崎城と中世の柏北城」(たけしま出版、千三百円)や、これまでの会報でお知らせしとおり。有名な故事を題材にしたり、同不動尊内外の様子を描いたり、色彩豊かな絵馬プリントです。中でも、原寸大(縦八センチ×横一メートル



また、絵馬の写真と簡単な解説が付いている絵馬パンフレットも四月に完成。興味はあるのに知る機会の少ない地域史の資料を、いろいろないイベントの際にご利用ください。無料ですが、運搬等はお願いたします。▽問い合わせ 会事務局、または090・2523・6113 青山さん

会報の発行が遅れ、大変ご迷惑をおかけ致しました。個人的な理由ですが、作成の時間がとれず、会員の皆様にお詫びを申し上げます。浦久淳子

松葉子どもフェスティバルのバザーに参加*バザー品を集めています*

松葉子どもフェスティバルのバザーに参加します。バザー品が少なくなっていますので、ご協力よろしくお願いします。品物は、食品以外、何でも結構です。ただし、洋服は新品に近いものでお願いいたします。詳細は次の通り。松葉子どもフェスティバル▽十月二十日(日)午前十時〜午後二時▽松葉町マルエツ前広場

バザー品収集

▽十月十四日(祝)午前十時〜午後四時▽松葉カルチャースペース(マルエツ前の交差点を花野井方面へ十メートル。「日高義塾」の看板があるビル3階)▽問い合わせ 会事務局

会員便り

勝間俊郎

柏市松ヶ崎に引っ越して来て十二年になります。住んでいる隣に小高い森が在るのは気にしていました。まさか城跡とは思っていませんでした。季節によっては野鳥の鳴き声なども聞こえて、私にとっては心地良い場所でした。ただし、いつもまわりから見ているだけなのです。出来ることならば、有りのままの形に残しておきたいものです。歴史的価値が在ると、思っているからです。

岡俣代

第十回北野道彦賞を受賞された柴田弘武先生を講師として、私達仲間が古代史を学んでいる。一九八八年に始めた学習会も早いもので十五年になる。「古事記」「常陸国風土記」など、机の上の学習だけでなく現地を歩くことも楽しんでいる。今年四月、韓国に連れて行って頂いた。ソウルから釜山まで四泊五日の旅であったが、観光旅行では行けないような所に行ったので歴史好きな人達にとって、堪らなく楽しい旅であった。